
サルサ

U M A U M A

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
サルサ

【Nコード】
N3397N

【作者名】
UMAUMA

【あらすじ】
宗教ってくだらないって思って書きました

昔、昔、とある村のとある神社にとある仏像があった。村人はそれを神とあがめ、この仏像には不思議な力が宿っていると考えていた。

そのためこの仏像は神聖な物とし、この仏像にふれることはおろか見ることも一部の者を除き許されていなかった。

時々この仏像を無許可で触れようとするばちあたりな者もいた。が、しかしそんな者は例外なく死刑となりこの仏像がどんな形であるのかすら人々は知らなかった。しかしそれでもこの仏像には神聖な力が宿っていると思つて疑わなかった。

しかし、ある時事件が起こる。山から下りてきたサルがこの神社に忍び込み暴れまわつたのである。中にあるものは全て破壊され仏像もその例からまれることはなかった。

その様子を見てあるものはサルを皆殺しにしろと叫び。ある者は崇りを恐れたただただ祈るのだった。

山の中――

「人間たちの様子みたか？」

「ああ、ありや正気のさたじゃねえ」

「たかが木が壊れただけであの大騒ぎだ」

「なあ。自分たちは毎日山に入って同じもん切るのにな」

「なんでも宗教つて奴が関係あるらしい」

「たかが木を祭るなんて馬鹿げたもんだね、宗教つて」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3397n/>

サルサ

2010年10月9日19時24分発行